



ちょっと素敵な話

No.7

喜びを感じる瞬間

利用者さんの支援について、様々な方法を考えて提供することが私たちの仕事です。

声をかける工夫をする、道具を作って支援する、支援員と一緒に取り組んでいく、日々繰り返し取り組んでいくなど、方法は利用者さんによって一人ひとり異なります。職員が一丸となって協力して支援することが大切だと日々感じていきます。

今まで取り組んできた支援の中で、失敗も多くありますが、成功もたくさんありました。成功を実感した時（支援をして利用者さんが良い方向に変化した時）は、「やって良かった！嬉しい！」と充実感と喜びでいっぱいになります。

利用者さんの良い変化には二つあります。

一つ目は、何か支援をすることで、利用者さんにすぐに変化が出ることです。例えば、自分が考えて作った道具を提供すると、とても喜んで手に取り過ぎられる、集中して作業に取り組まれるようになったなどの変化です。

「この支援を考えて良かった。次も頑張ろう。」と自分自身の喜びと、次のやる気に繋がっています。

二つ目は、すぐの変化ではありませんが、長い目で見たときに、利用者さんの数年前と現在を比べた時に感じることです。例えば、「数年前は集中力を継続することが難しかったが、今は一時間も作業に取り組めるようになった。」「数年前は職員と一緒に取り組んでいたが、今は一人で取り組めるようになった。」「数年前に比べて言葉を発することが多くなった。」などがあります。このような変化を、過去を振り返ってみて感じた時、毎日の積み重ねの大切さを感じます。

私は利用者さんの良い変化に喜びややりがい、達成感を感じ、日々仕事に取り組んでいます。このやりがいや喜びを感じられることが嬉しくて、この仕事を続けているのだと思います。